

**令和2年度予算に係る
公共事業及び単独公共事業**

イラスト

かもがわ よどがわ
鴨川大規模特定河川事業（淀川水系鴨川）

京都市

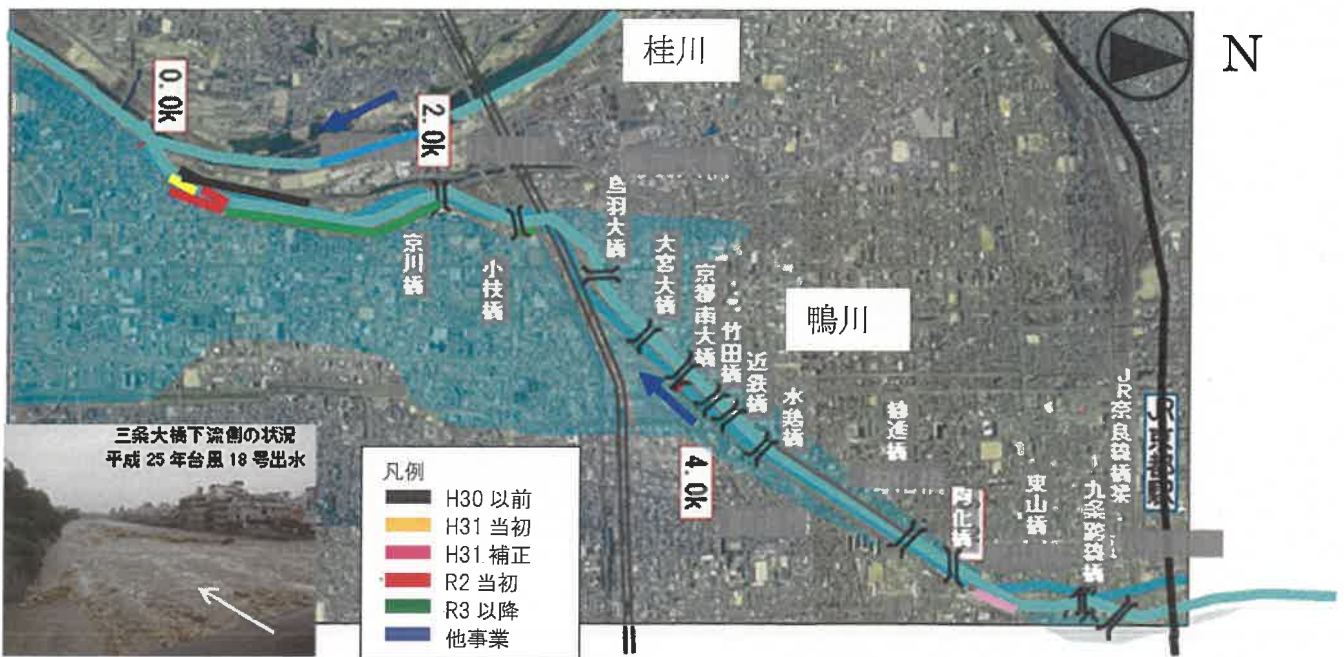
一級河川鴨川は、沿川に人口、資産、都市中枢機能が集積し、さらに歴史的文化遺産が数多く存在しており、河川・流域の重要度が高い河川です。河川整備計画に基づき、概ね30年に1回起こり得る降雨による洪水を流下させるため、現在、下流築堤区間の抜本的改修に取り組んでいます。

◎事業概要

全体計画	R元までの実績	R2計画
事業期間：S49～ C=12,000百万円 L=7,600m	C=4,648百万円	C=710百万円（R元補正含）
事業概要 掘削工、護岸工、橋梁工他	事業概要 掘削工、護岸工	内補正 C=200百万円 内大規模特定 C=248百万円 内重要インフラ C=262百万円 事業概要 掘削工、護岸工

◎当該年度の事業予定

当該予算において、桂川合流点付近の護岸工、掘削工等を実施します。



問い合わせ先：河川課整備係(075-414-5285)

しのみやがわ よどがわ
四宮川総合流域防災事業(淀川水系四宮川)

京都市

平成25年台風18号の集中豪雨により、山科川流域の四宮川が氾濫し、床上34戸、床下53戸の浸水被害が発生しました。

このため、平成25年台風18号と同規模の出水に対し、人家浸水被害の軽減を図ります。

◎ **事業概要**

全体計画	R元までの実績	R2計画
事業期間:H29～ C=5,120百万円	C=260百万円	C=100百万円 内重要インフラ C=100百万円
掘削工、矢板護岸工、 護岸工、物件補償等 L=2,300m	事業概要 護岸工、 詳細設計	事業概要 護岸工、詳細設計、 用地調査



◎ **当該年度の事業予定**

護岸工(山科川合流点下流部)、詳細設計、用地調査



問い合わせ先:河川課整備係(075-414-5285)

一級淀川水系 古川 広域河川改修事業

城陽市

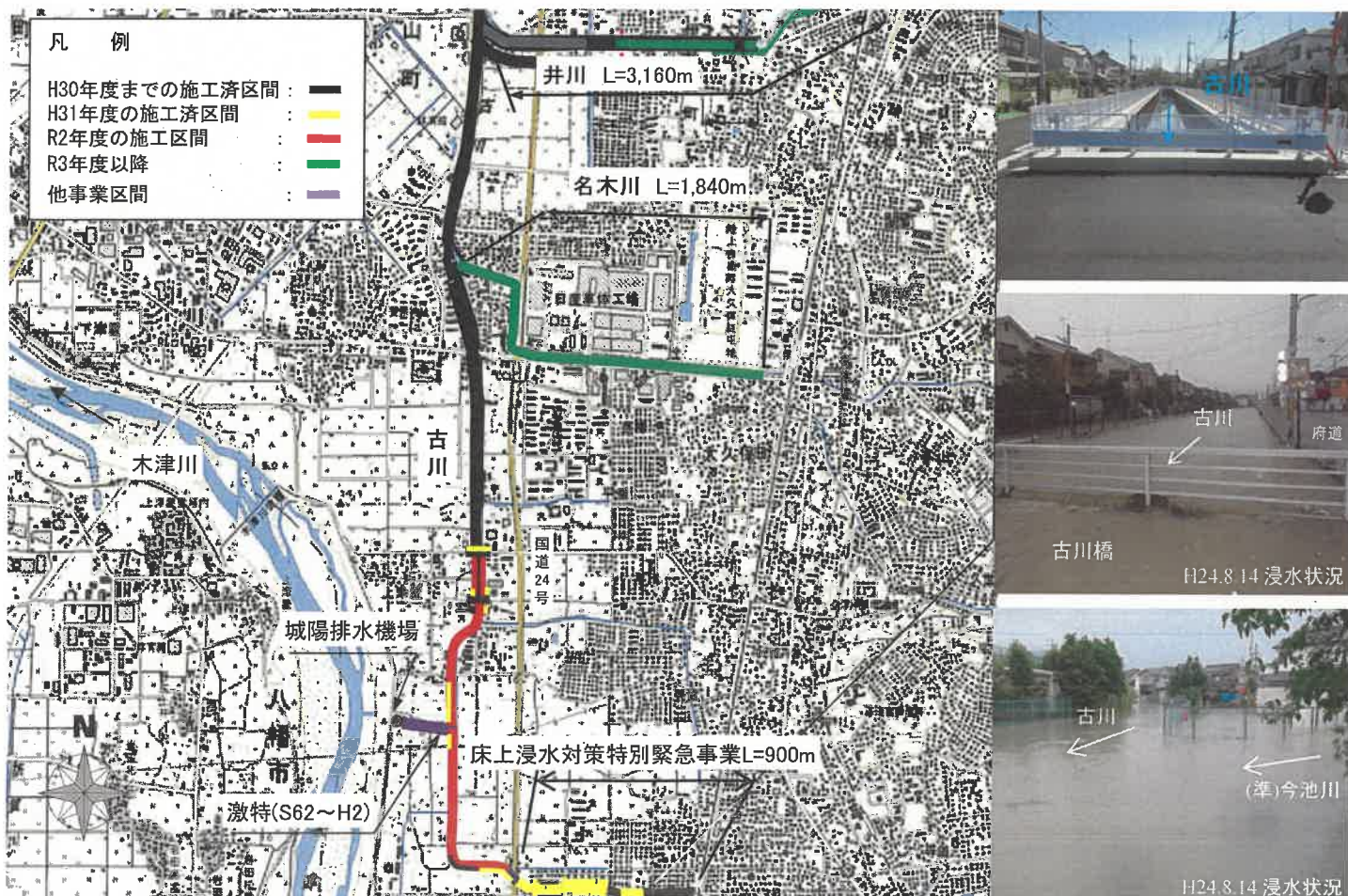
古川と支川の井川では近年、度々、浸水被害が発生しており、平成24年8月14日京都府南部地域を襲った豪雨により古川上流部に位置する城陽市域では床上浸水159戸、床下浸水387戸が発生し、再度災害防止のため河川改修の推進による治水安全度の向上が強く望まれています。このため、早期に浸水被害の軽減を図れるよう事業を進めています。また、古川の国道24号交差部下流や支川の井川についても、浸水被害の軽減を図るため河川改修を進めます。

○事業概要

全体計画	R元までの実績	R2計画
古川広域河川改修事業 L=8,500m (井川3,160m、名木川1,840m) 事業期間:S46～ C=45,700百万円 事業概要 掘削工、築堤工、護岸工、橋梁工、 用地物件補償	C=35,295百万円 事業概要 掘削工、築堤工、護岸工、 橋梁工、用地物件補償	C=804百万円(R元補正含む) うち補正 C=200百万円 うち通常 C=604百万円 事業概要 掘削工、護岸工、橋梁工、 用地補償

○当該年度の事業予定

古川において、河道の掘削工、護岸工、橋梁工等を進めます。



問い合わせ先: 河川課整備係 (075-414-5285)

かつらがわ

桂川（亀岡工区）広域河川改修事業（淀川水系桂川）

かめおかしのちょう ちよかわちょう
亀岡市篠町～千代川町

桂川（亀岡工区）については、亀岡市の保津峡入口付近から南丹市八木町境までの、延長9,400mを計画区間として事業を進めています。保津工区（保津峡入口部～旧保津橋 L=2,300m）については、当面計画（S57出水対応）に基づく改修が概成し、現在、下流直轄区間の整備状況を踏まえつつ、戦後最大洪水に対応した本川整備を進めています。

支川の雑水川、千々川及び七谷川においても本川と併せて整備を行います。

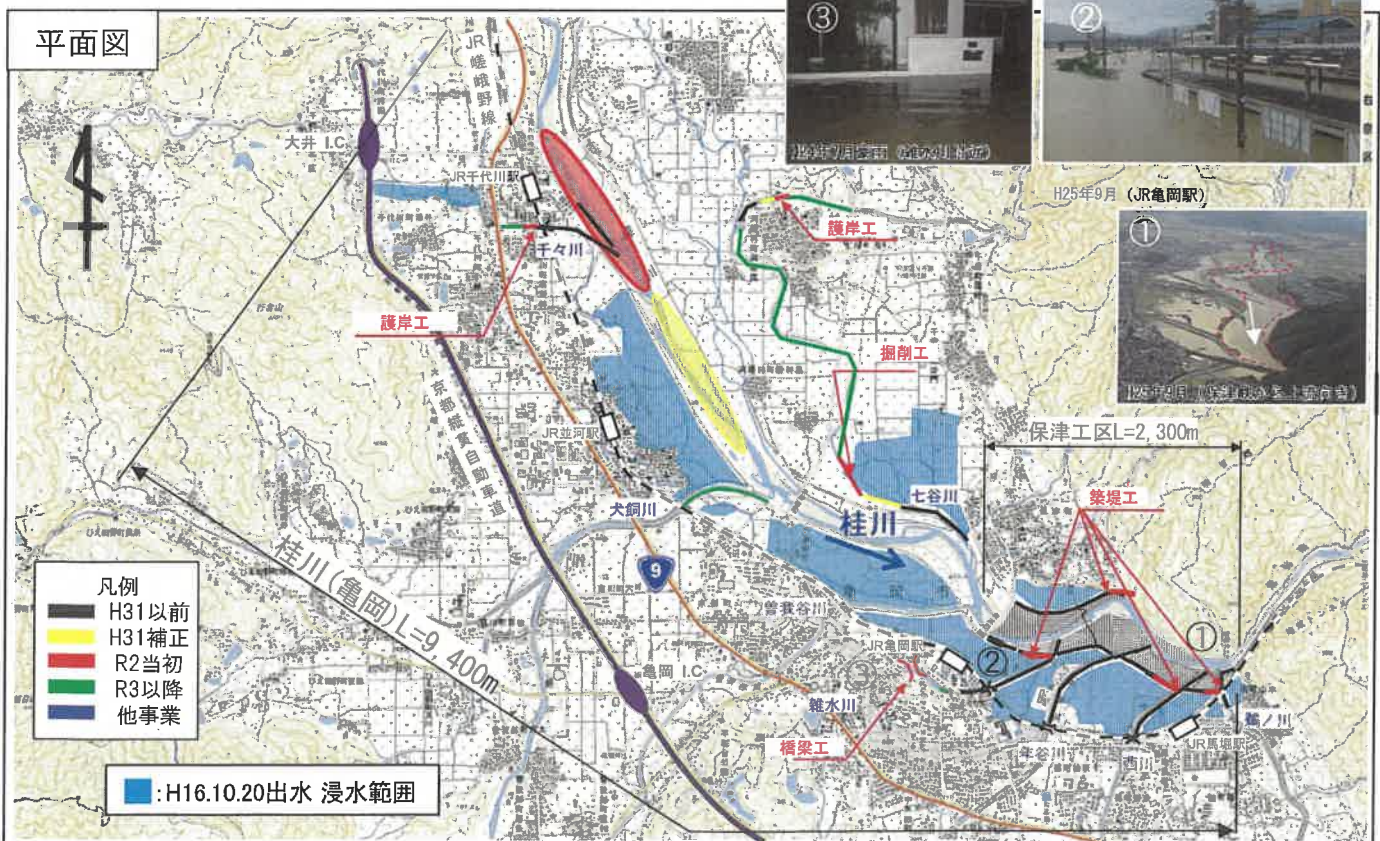
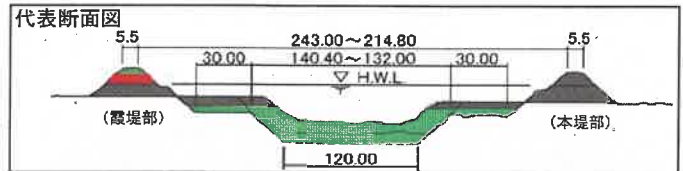
◎ 事業概要

全体計画	R元までの実績	R2計画
事業期間：S50～ C= 54,938百万円	C= 31,848百万円	C=770百万円 (R元補正含) うち補正 C=50百万円 うち通常 C=240百万円 うち重要インフラ C=480百万円
事業概要 掘削工、築堤工、護岸工 橋梁工、樋門工、用地買収 L=9,400m	事業概要 掘削工、護岸工、橋梁工 測量試験、用地物件補償	事業概要 護岸工、橋梁工、掘削工 樹木伐採



◎ 当該年度の事業予定

- 本川：築堤工（霞堤）、河道掘削・樹木伐採
- 雑水川：橋梁工
- 千々川：護岸工
- 七谷川：掘削工、護岸工



弘法川・法川床上浸水対策特別緊急事業（由良川水系弘法川・法川）
弘法川・法川総合流域防災・統合河川事業（由良川水系弘法川・法川）

福知山市

由良川沿川の福知山市では、平成26年8月豪雨により甚大な浸水被害が発生しました。

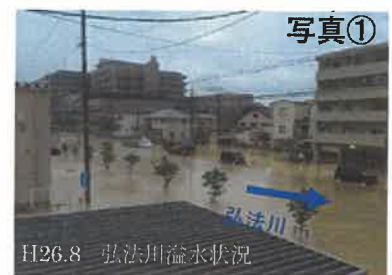
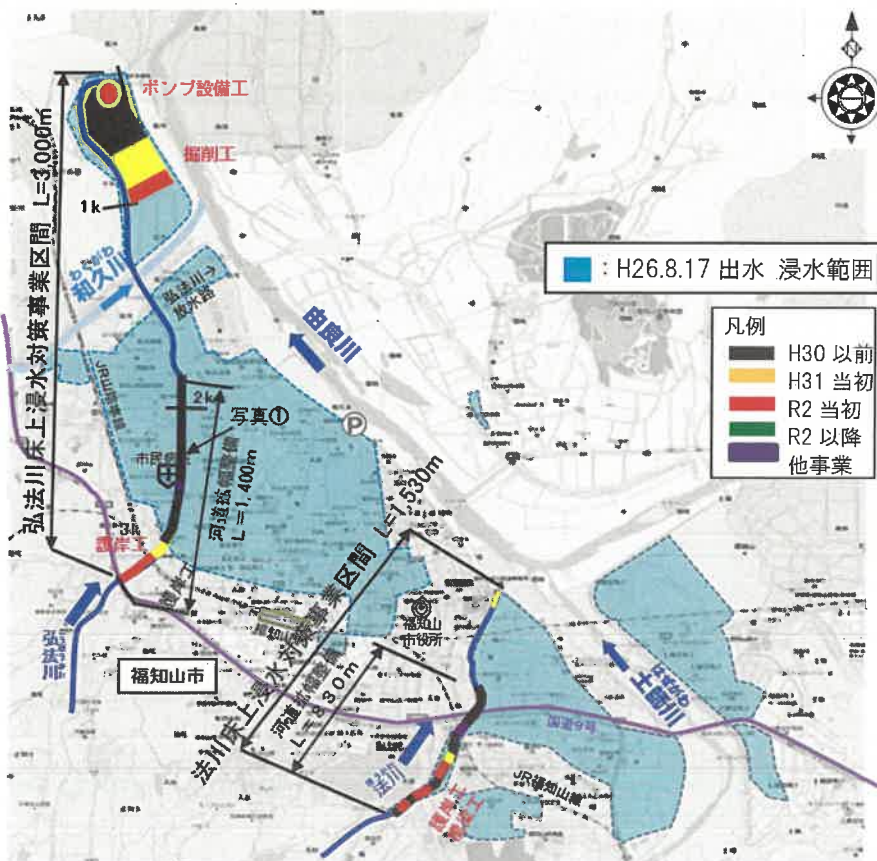
そこで、国、京都府、福知山市の3者が連携して浸水対策事業を実施することとし、府の事業としては、弘法川及び法川の河川改修・調節池・ポンプ施設等を整備し、早期に浸水被害軽減を図ります。

◎事業概要

全体計画	R元までの実績	R2計画
事業期間：H27～R2 C=8,476百万円 [弘法川]事業区間 L=3,000m [法川]事業区間 L=1,530m 掘削工、護岸工、橋梁工 調節池、樋門工、用地買収他	C=7,400百万円 事業概要 掘削工、護岸工、橋梁工 測量設計、ポンプ設備工、 用地買収	C=1,076百万円 内床上 676百万円 内交付金 400百万円 事業概要 掘削工、護岸工、橋梁工、 用地買収

◎当該年度の事業予定

当該予算において、弘法川・法川で掘削工、護岸工、橋梁工及び用地買収を実施します。



高野川事業間連携河川事業（高野川水系高野川）
高野川広域河川改修事業（高野川水系高野川）

舞鶴市

高野川流域では、平成16年台風23号による洪水と高潮により、床上156戸、床下642戸の浸水被害が発生し、平成25年台風18号及び平成29年台風21号においても同様の浸水被害が発生しました。

このため、舞鶴市が実施する下水道事業と連携した河川改修を行い、平成16年台風23号と同規模の出水に対して、浸水被害の軽減を図ります。

◎ 事業概要

全体計画	R元年度まで	R2計画
事業間連携河川事業 事業期間 R元～R5 C=2,810百万円 事業概要 掘削工、護岸工、 橋梁工、用地買収	C=557百万円 事業概要 掘削工、護岸工、 詳細設計	C=702百万円 内事業間連携C=692百万円 内通常 C= 10百万円 事業概要 用地買収、護岸工



◎ 当該年度の事業予定

当該予算において、護岸工を行うほか、用地買収を実施します。

近年の浸水被害(戸)	床下浸水	床上浸水	合計
平成25年台風18号	178	168	346
平成29年台風21号	311	134	445



問い合わせ先:河川課整備係(075-414-5285)

いさづがわ
伊佐津川総合流域防災事業（伊佐津川水系伊佐津川）

舞鶴市

伊佐津川は、昭和62年に河口から九杵橋下流までのL=3,450mの区間における河川改修に着手し、その内河口から高砂橋上流までのL=900m間についての河川改修を平成26年度から進めています。

護岸工及び掘削工の実施により、流下能力を向上させ、浸水被害の軽減を図ります。

◎ 事業概要

全体計画	R元までの実績	R2計画
事業期間 S62～ C=5,760百万円	C=1,195百万円	C=422百万円(補正含)
事業概要 掘削工、護岸工、 橋梁工、用地買収等	事業概要 掘削工、仮落差工、 移動式排水施設	内補正 C=222百万円 内重要インフラ C=200百万円 事業概要 護岸工、掘削工

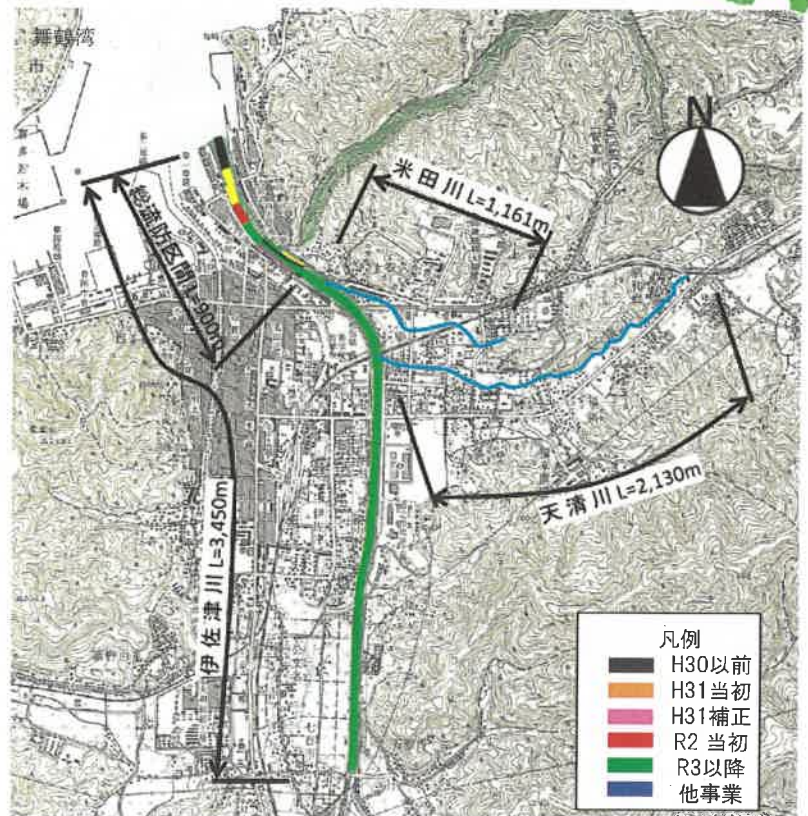


◎ 当該年度の事業予定

当該予算において、護岸工及び掘削工を実施します。

西舞鶴地区

近年の浸水被害(戸)	床下浸水	床上浸水	合計
平成25年台風18号	351	149	500
平成29年台風21号	390	161	551
平成30年7月豪雨	543	199	742



問い合わせ先: 河川課整備係 (075-414-5285)

(京都府)

こにしがわ
小西川大規模特定河川事業

たけのがわ たけのがわ たけのがわ とっとりがわ こにしがわ
竹野川広域河川改修事業 (竹野川水系竹野川・鳥取川・小西川)

京丹後市

1. 事業概要

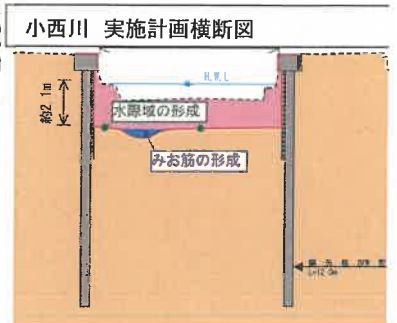
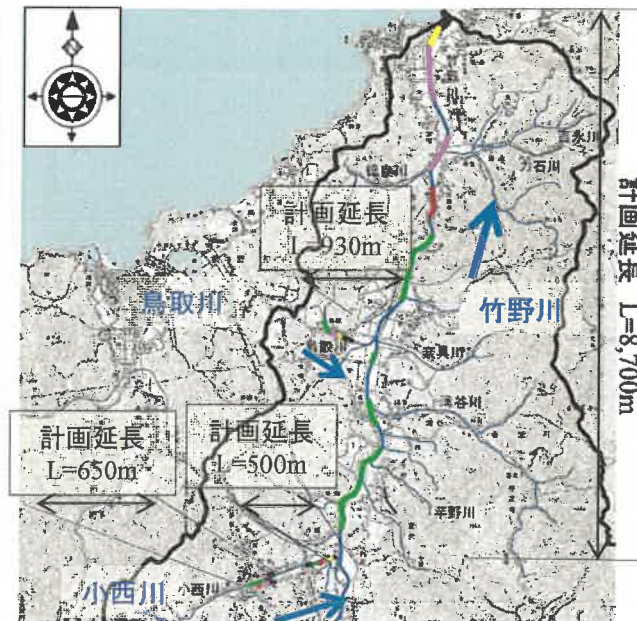
竹野川流域において、平成16年9月台風21号、平成16年10月台風23号、平成20年7月豪雨により、大きな被害に見舞われた。また、近年の出水では、中下流の小西川等で度重なる浸水被害が発生していることから、全ての人家浸水被害を解消することを目的として、竹野川及び支川の小西川、鳥取川の改修を実施する。

全体計画	R元までの実績	R2計画
事業期間 H28～ C=4,813百万円	C=850百万円	C=706百万円(補正含)
事業概要 掘削工、護岸工、 橋梁工、用地買収 等	事業概要 掘削工、護岸工、 橋梁工	内補正 C=450百万円 内個別補助 C=200百万円 内重要インフラ C=56百万円 事業概要 橋梁工、掘削工、樹木伐採



3. 令和2年度の事業概要

橋梁工、掘削工、樹木伐採



問い合わせ先: 河川課整備係 (075-414-5285)

たにごがわ

谷河川特定緊急砂防事業

きょうとふ ふくちやまし おおえちよう ぐじょう
京都府 福知山市 大江町 公庄

本箇所は、京都府福知山市に位置し、平成30年7月豪雨により一級河川谷河川の右岸斜面で幅110m、奥行180mの規模で地すべりが発生し、天然ダムが形成された。今後の豪雨により天然ダム決壊および斜面上の不安定土砂の再度流出を防止するため、災害関連緊急砂防事業で砂防堰堤、特定緊急砂防事業で法面工他の対策を講じる。

◎箇所概要

全体計画	R元年度までの実績	R2計画
R元～R3 法面工 溪流保全工 195m	法面工	法面工、溪流保全工
350百万円	200百万円	100百万円



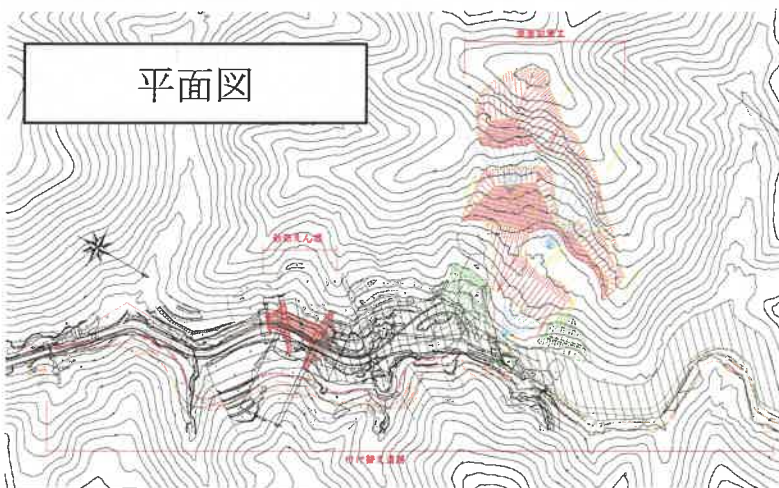
被災直後（平成30年7月）



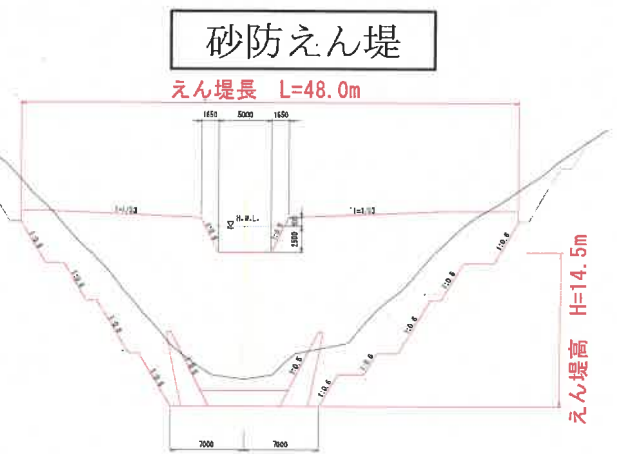
堰堤施工状況（令和2年3月）



位置図



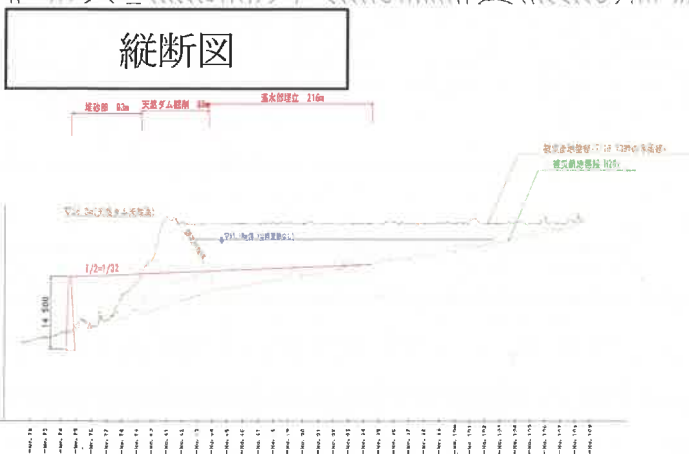
平面図



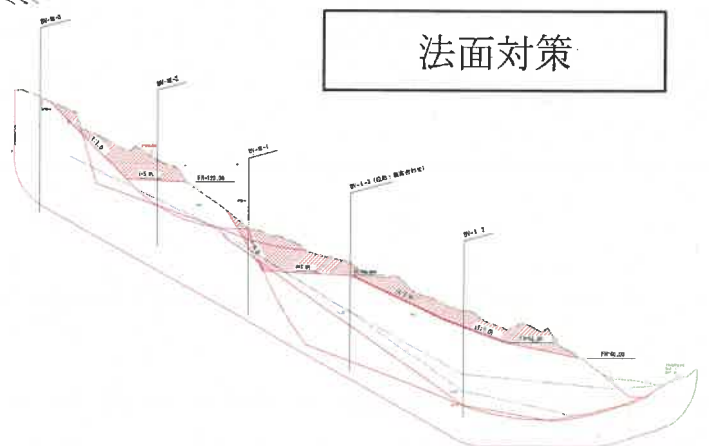
砂防えん堤

えん堤長 L=48.0m

えん堤高 H=14.5m



縦断図



法面对策

きたがわ

京都府 淀川水系 北川 事業間連携砂防等事業

きょうとし にしきょうく おおはらの きたかすがちよう
 京都市 西京区 大原野 北春日町

○事業目的

当該箇所は、京都市西京区の山間部に位置し、人家、市道、耕地を保全対象とする危険渓流である。渓流は溪岸浸食が進行し、多量の不安定土砂・転石が渓流内に堆積しており、土石流の発生が懸念されるため、早急に対策を行う必要がある。

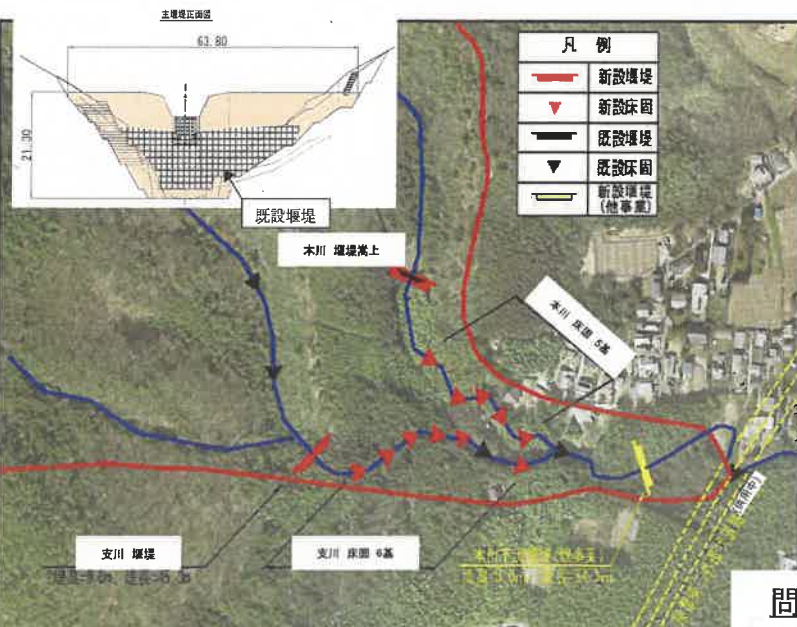
○事業概要

保全対象：人家139戸、農地15.7ha、主要地方道、一般府道、市道、京都第二外環状道路（H25.4供用開始）

全体計画	R元年度までの実績	R2計画
H13～R4 測量設計調査、用地補償、砂防堰堤2基、床固工11基、仮設工（工事用道路）等 事業費：950百万円	測量設計調査、用地補償仮設工（支川工事用道路）支川砂防堰堤（完成）支川流路工（一部） 事業費：500百万円	支川流路工（概成）支川管理用通路（完成）本川砂防堰堤嵩上げ（一部）本川工事用道路 事業費：220百万円



土砂災害特別警戒区域内に、現在建設中である京都第二外環状道路及び地域の南北軸を形成する基幹道路である主要地方道大山崎大道路が存在し、広域避難所（南宮清原高等学校）へのアクセスルートが寸断されるおそれが高い。



問合せ先：砂防課事業係 (075-414-5319)

みだしろがわ
京都府 淀川水系 弥陀次郎川 通常砂防事業
 きょうとふ うじし こばた
 京都府 宇治市 木幡

○事業目的

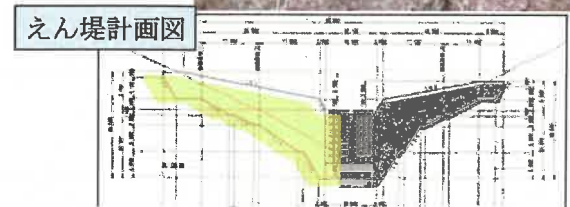
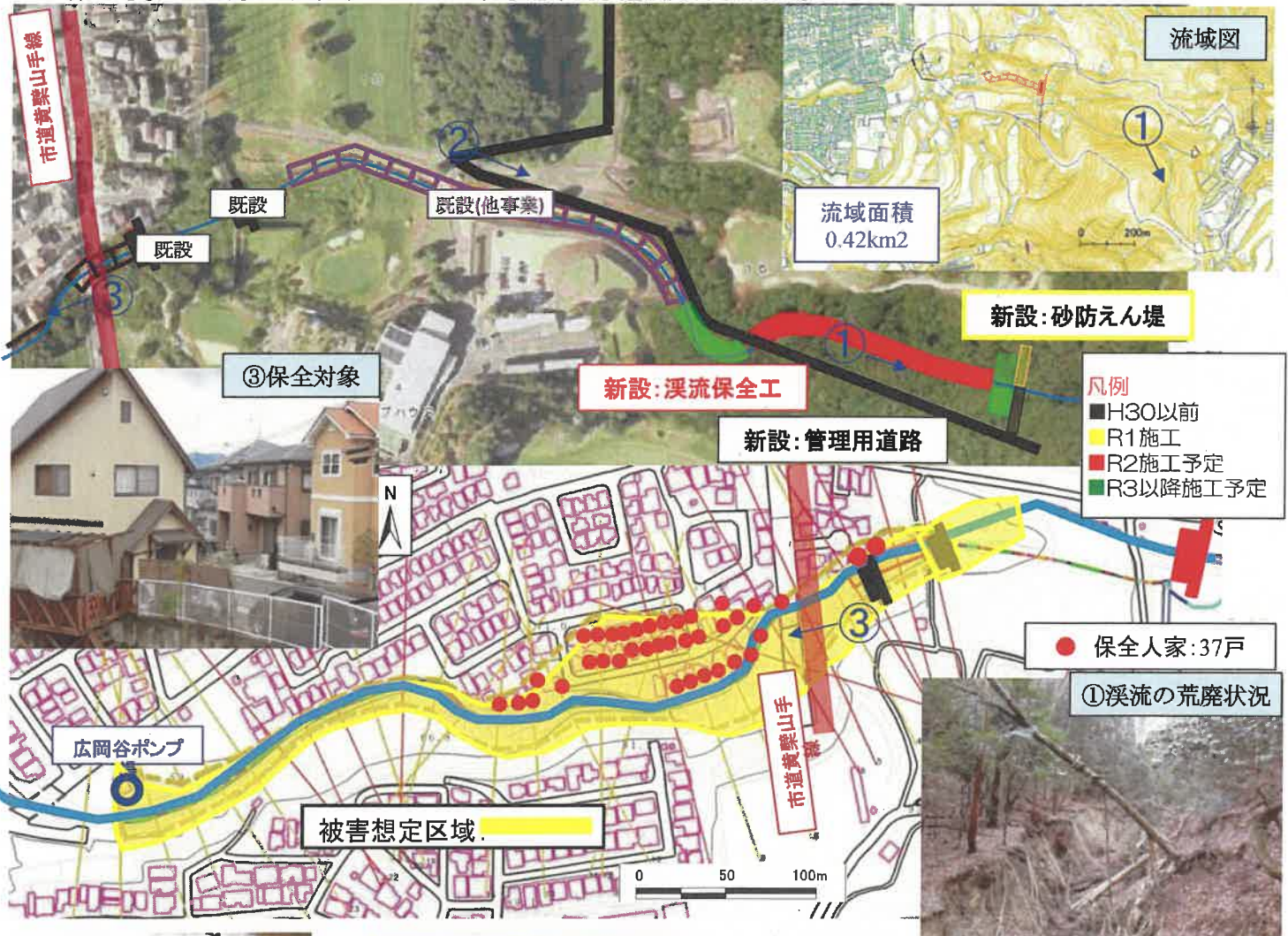
弥陀次郎川は京都府宇治市に位置し、保全対象として人家37戸および市道を含む溪流である。平成24年8月の京都府南部豪雨により多量の土砂や流木が流出し、現在も溪流には多くの不安定土砂や流木が堆積している。今後の大雨により土砂災害の発生が懸念されるため、早急に対策を行う必要がある。



全体計画	R1までの実績	R2計画	進捗率	
H26～R4 調査、設計、用地補償 砂防えん堤工、管理用道路 工、橋梁上下部工事 事業費 550百万円	調査、測量設計、用地補償、 管理用道路、橋梁上下部工、 砂防えん堤 事業費 385百万円	流路工 事業費 125百万円	全体 用地	70%
			工事	67%

○保全対象

保全対象 : 人家37戸、市道129m、宇治市上水道広岡谷ポンプ場



問合せ先：砂防課事業係 (075-414-5319)

へい

平地区 急傾斜地崩壊対策事業

きょうとふ きょうたんごし たんごちょう へい
京都府 京丹後市 丹後町 平

○事業目的

平地区は京都府京丹後市丹後町に位置し、保全対象として人家15戸および国道178号(第2次緊急輸送道路)を含む斜面である。

今後の大雨により土砂災害の発生が懸念されるため、早急に対策を行う必要がある。

○箇所概要

全体計画	R元までの実績	R2計画
事業期間：H27～R2 事業概要：擁壁工 法面工 総事業費：365百万円	測量、地質調査、 詳細設計、用地買収 法面工、擁壁工 1式 C=265百万円	法面工 1式 C=100百万円

○進捗率

(R元年度末見込み)

全体	72.6 %
工事	70.1 %
用地	100 %

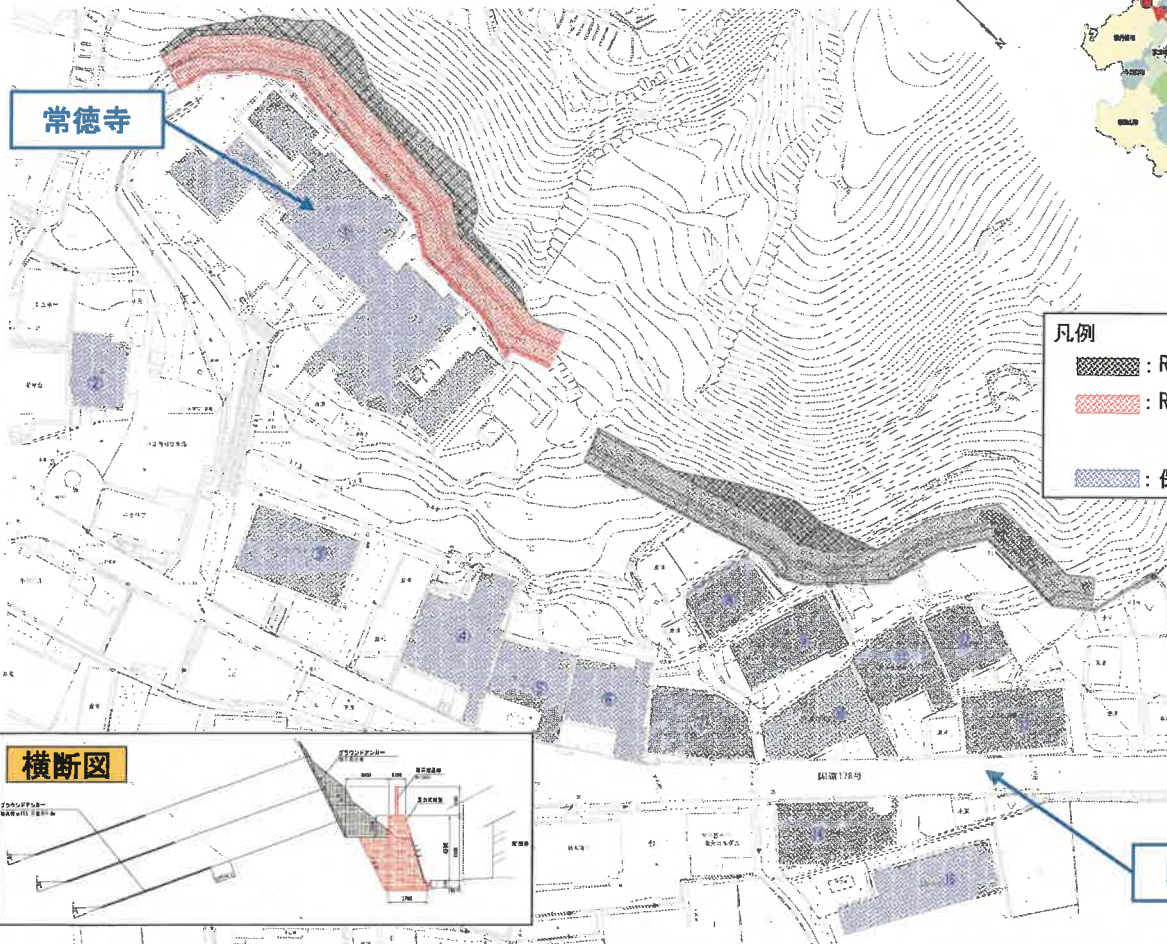
位置図



平地区

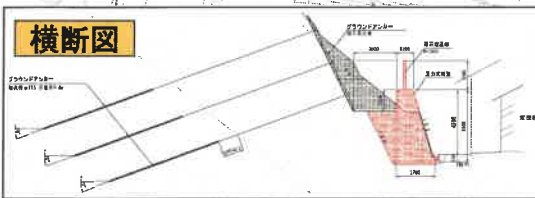
凡例

- : R元以前施工
- : R2施工予定
- : 保全対象



国道178号

横断面図



①斜面全景



②保全対象(人家+国道)



③斜面状況



問合せ先：砂防課事業係 (075-414-5319)

山陰近畿自動車道の補助調査 ^{あみの} (網野～兵庫県境)

(京丹後市網野町～兵庫県境)

山陰近畿自動車道（鳥取豊岡宮津自動車道）は、山陰自動車道、鳥取自動車道、北近畿豊岡自動車道及び京都縦貫自動車道と一体となって広域的なネットワークを形成する延長約 120km の地域高規格道路です。

京丹後市網野町～兵庫県境については、ルート未決定のため、ルート選定に向けた調査を進めるものです。

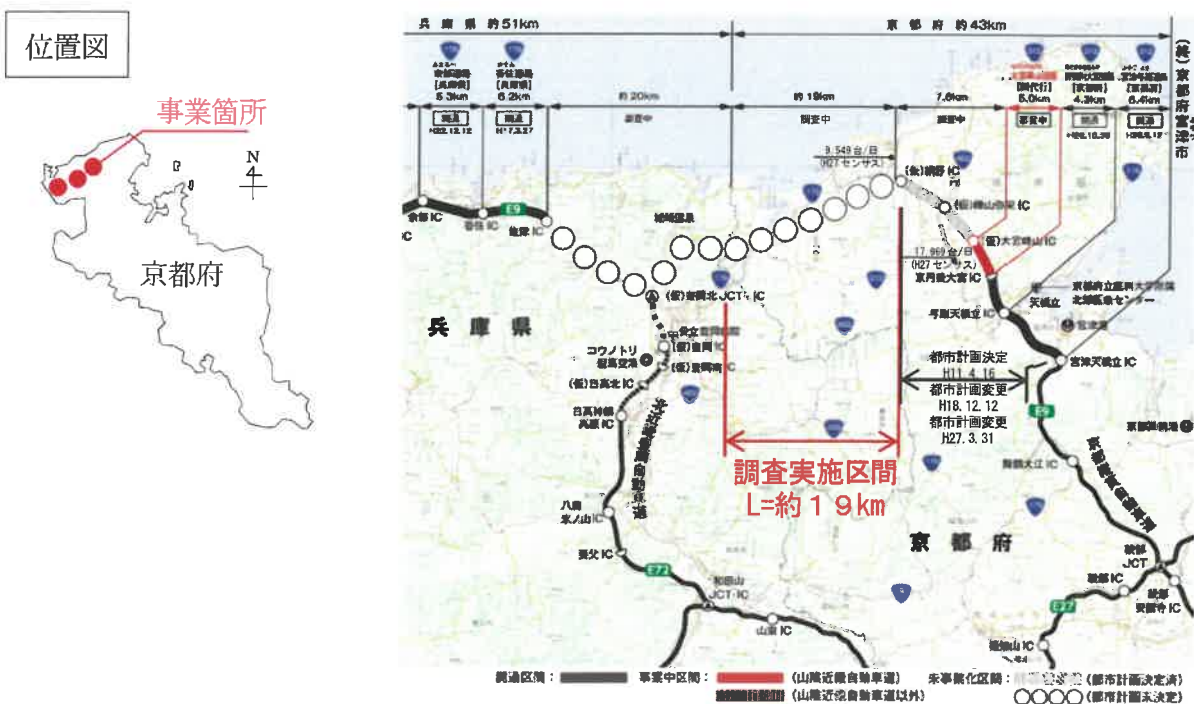
令和2年度は、航空測量・概略ルート検討を実施します。

◎補助調査概要

全体計画	R元までの実績	R2計画
期間：R2～ 延長：約 19km 幅員：未定		事業概要：航空測量 概略ルート検討 事業費：16.5 百万円

◎事業効果

- 本区間の整備により、丹後地域の観光施設へのアクセス性向上による観光振興に寄与します。
- 災害に強い道路ネットワークの構築、救急医療の搬送時間短縮による地域の安心・安全の向上等が期待できます。



問い合わせ先：道路計画課計画係 (075-414-5248)

うじたわらやまてせん
一般国道307号 (宇治田原山手線)
 (宇治田原町ねだ賛田みなみ～南)

一般国道307号は、滋賀県彦根市から宇治田原町を経由して大阪府枚方市に至る幹線道路であり、第二京阪道路や京奈和自動車道等と接続する京都府南部地域の重要な東西軸であり、第2次緊急輸送道路としての役割も担っております。

しかし、宇治田原町域の現道では、朝夕には慢性的に渋滞が発生し、また平成25年の台風18号の際には土砂崩れで全面通行止めとなり、町内の交通機能が麻痺するなど、その代替機能の確保が求められております。

また、令和5年度開通予定の新名神高速道路の効果を活かした新たなまちづくりを支援するとともに、企業立地の誘導等による地域産業の振興に寄与します。

本事業により、供用済の宇治木屋線（南バイパス）から町道第1南北線までの区間を整備することにより、町道と一体となって国道307号を補完する道路網を形成するものです。

令和2年度は、詳細設計・用地補償・道路築造・橋梁上下部工を実施します。

◎事業概要

全体計画	R元までの実績	R2計画
事業期間：H29～R3 事業延長：0.9km 幅員：6.5(10.5)m 総事業費：1,100百万円	事業概要：路線測量、設計 用地測量、用地補償 事業費：233百万円	事業概要：詳細設計 用地補償、道路築造、 橋梁上下部工 事業費：303百万円

◎事業効果

- バイパス整備により、現道の渋滞を緩和し、安全で円滑な走行に寄与します。
- 高速道路へのアクセス向上により、新たなまちづくりに寄与し、地域産業の振興や交流人口拡大等が図られます。

位置図



標準横断面図



【事業区間の状況】



【国道の渋滞状況】



【被災の様子 平成25年9月】

うじこや いぬうち 主要地方道 宇治木屋線（ 犬打峠 ） （宇治田原町 南 ～和東町別所）

主要地方道宇治木屋線は、宇治市宇治橋を起点に相楽郡和東町木屋に至る道路であり、相楽東部地域と京都市域を結ぶ最短ルートですが、宇治田原町と和東町にまたがる犬打峠では、道路幅が狭く、急カーブが連続しているため、普通車の離合が困難な交通の難所となっています。

また、大雨時に孤立する恐れのある和東町の住民の安心・安全を確保するためにも重要な道路であり、和東町役場から宇治田原町インターチェンジまで15分程度で結ばれるなど、その整備効果が大きいと期待されます。

本事業では、この峠区間をトンネル等で整備することにより、安全で円滑な走行の確保を図るとともに、高速道路へのアクセス機能向上により地域産業の振興や交流人口拡大に寄与するものです。

令和2年度は、設計・道路築造・トンネル工を実施します。

◎事業概要

全 体 計 画	R元までの実績	R 2 計 画
事業期間：H29～R5 事業延長：3.6km 幅 員：6.0(7.5)m 総事業費：6,500 百万円	事業概要：測量設計、調査 設計、用地補償、道路築造 事 業 費：393 百万円	事業概要：設計、道路築造、 トンネル工 事 業 費：902 百万円

◎事業効果

- 線形改良により、現道の交通難所を解消し、安全で円滑な走行に寄与します。
- 高速道路へのアクセス向上により、地域産業の振興や交流人口拡大等に寄与します。

位置 図



事業区間の状況



現道の状況



標準断面図

7.50			
0.75	3.00	3.00	0.75
路 肩	車 線	車 線	路 肩

問い合わせ先：道路建設課道路・橋梁係 (075-414-5252)

やましろうごうんどうこうえんじょうようせん じょうよう
一般府道 山城総合運動公園城陽線 (城陽橋)
 (城陽市富野)

一般府道山城総合運動公園城陽線は、宇治市を起点とし、城陽市の国道24号に至る道路であり、現在建設中である新名神高速道路城陽JCT・ICと東部丘陵線や宇治市街地を結ぶ2車線の道路ですが、事業区間周辺では渋滞が発生しており、車両の円滑な走行に支障をきたしています。

本事業により4車線化することで、令和5年度に予定されている新名神高速道路の全線開通の効果を最大限発揮する道路軸を構築し、産業の活性化や広域的な地域間交流圏を形成します。

令和2年度は、設計・用地測量・用地補償・埋蔵文化財調査・橋梁上下部工を実施します。

◎事業概要

全 体 計 画	R元までの実績	R2計画
事業期間：R元～R5 事業延長：0.7km 幅員：13.0(17.5)m 総事業費：4,000百万円	事業概要：測量設計、用地測量、用地補償、埋蔵文化財調査、橋梁下部工事 事業費：1,030百万円	事業概要：設計、用地測量、用地補償、埋蔵文化財調査、橋梁上下部工事 事業費：920百万円

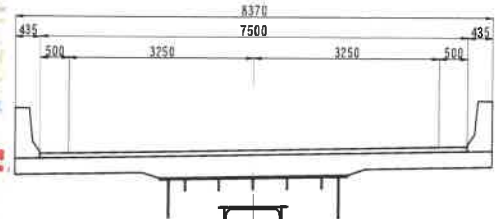
◎事業効果

- 4車線化整備により、渋滞を緩和し、安全で円滑な走行に寄与します。
- 新名神高速道路城陽JCT・ICへのアクセス向上を図ります。

位置図



標準横断面図



現道の状況



問い合わせ先：道路建設課道路・橋梁係 (075-414-5252)

一般国道423号 (法貴バイパス)

（^{かめおか} 亀岡市西別院町～^{そがべ} 曾我部町）

亀岡市南西部を通る国道423号は、大阪市北区の国道25号を起点とし、^{みのお}箕面市を經由した後、亀岡市で国道9号に至る約5.3kmの道路で、京都縦貫自動車道亀岡ICに接続し、新名神高速道路箕面とどろみICへも接続していることから、京阪神地域へのアクセス性が大幅に向上し、京都府中部地域と阪神地域とを結ぶ重要な幹線道路となっています。

しかし、京都府域の亀岡市西別院町から曾我部町に至る区間は急カーブや急勾配が連続し、第1次緊急輸送道路に指定されているにもかかわらず異常気象時の事前通行規制区間であるため、車両の安全で円滑な通行に支障をきたしています。

このため本事業は、現道の急勾配・線形不良区間を迂回するバイパス道路を整備することにより、通行車両の安全で円滑な通行を図るものです。

令和2年度は、引き続き調査設計・用地補償・道路築造を実施します。

◎事業概要

全体計画	R元までの実績	R2計画
事業期間：H25～	事業概要：測量設計、	事業概要：調査設計、
事業延長：3.6km	用地補償、	用地補償、
幅員：6.5(8.0)m	道路築造	道路築造
総事業費：4,200百万円	事業費：1,568百万円	事業費：894百万円

◎事業効果

- バイパス道路の整備により、現道の交通難所を回避し、安全で円滑な走行に寄与します。
- 道路の防災性を高め、事前通行規制区間の解消と緊急輸送道路としての信頼性向上を図ります。
- 物流や観光客等について、京都府中部地域と阪神地域との交流・連携を促進します。

【位置図】



【現況】



【施工の状況】



えのきとうげ
一般国道429号（榎峠バイパス）
 (兵庫県丹波市青垣町中佐治～京都府福知山市談)

兵庫県丹波市と京都府福知山市の府県境部を結ぶ国道429号は、地域の観光振興や救急医療活動等において重要な役割を担っていますが、府県境部の榎峠では、急カーブが連続し、幅員が狭小で普通車の離合が困難な状況にあり、兵庫県側では異常気象通行規制区間となっているほか、特に冬期は積雪や凍結により通行に支障が生じています。

本事業では、この峠区間を兵庫県と合わせてトンネル等で整備することにより、安全・安心で円滑な交通を確保するものです。

令和2年度は、測量、調査・設計を実施します。

◎事業概要

全体計画	R元までの実績	R2計画
事業期間：R2～R8 事業延長：1.2km （全体延長：2.4km） 幅員：6.0(7.5)m 全体事業費：4,270百万円	/	事業概要：測量、調査・設計 事業費：90百万円

◎事業効果

- 道路線形の改良、道路幅員の拡幅により、安全で快適な道路交通を確保します。
- 国道9号や国道175号、舞鶴若狭道の代替路として、広域的な緊急輸送道路ネットワークの機能強化を図ります。
- 大丹波による広域的な観光振興など地域間の交流・連携を促進します。

位置図



現道の状況



標準横断面図



問い合わせ先：道路建設課道路・橋梁係 (075-414-5252)

主要地方道おぐらにしまいづる小倉西舞鶴線しらとり（白鳥工区）

まいづる もり うえやす
（舞鶴市森～上安地内）

主要地方道おぐらにしまいづる小倉西舞鶴線は、舞鶴市小倉の国道27号を起点とし、舞鶴市引土ひきつちで国道27号に接続する約11kmの道路で、国道27号とともに東西市街地を結ぶ重要な路線で、舞鶴若狭自動車道へのアクセス道路としての役割も担っています。

事業区間のしらとり白鳥トンネルは昭和25年に築造され約70年が経過し老朽化が進行しているほか、その前後約1.4kmには歩道がなく、幅員狭小で路肩が狭いことから、安全な通行に支障を来しており、併せて、トンネル付近の現道には、周辺の市道からの合流による交通集中のため慢性的に渋滞が発生しています。

本事業により、老朽化が進行している白鳥トンネルを含め、約1.4kmを4車線道路に整備し、渋滞の緩和と通行の安全性向上を図ります。

令和2年度は、用地補償・道路築造・トンネル工を実施します。

◎事業概要

全体計画	R元までの実績	R2計画
事業期間：H26～ 事業延長：1.4km 幅員：13(17.5)m 事業費：2,900百万円	事業概要：測量設計、 用地買収、 道路築造 事業費：771百万円	事業概要：用地補償、 道路築造、 トンネル工 事業費：440百万円

◎事業効果

- 歩道を備えた道路整備により、歩行者の安全・安心な通行環境を確保します。
- 老朽化したトンネルの拡幅工事により、道路の安全性が向上します。
- 舞鶴市の東西市街地間の慢性的な渋滞を緩和し、交流の促進を図ります。

位置図



現道の課題（路肩狭小）



現在の状況



問い合わせ先：道路建設課道路・橋梁係（075-414-5252）

むかいしまうじ さとじり
一般府道 向島宇治線 (里尻)
 うじしゅうじさとじり
 (宇治市宇治里尻)

一般府道向島宇治線は、宇治川左岸堤防上を京都市伏見区向島の国道24号交差点より宇治市里尻の宇治橋西詰交差点まで至る道路で、5つの府道と1つの市道が会合する宇治橋西詰交差点において慢性的に渋滞が発生しています。

本事業は、向島宇治線とJR奈良線の立体交差化による踏切除却を行い、渋滞緩和を図るとともに、駅アクセスの向上により、地域の産業振興や交流人口拡大等の形成に資する成長基盤の強化を図るものです。

令和2年度は、用地補償、道路築造を実施します。

◎事業概要

全体計画	R元までの実績	R2計画
事業期間：H26～R4 事業延長：0.3km 幅員：6.0(12.0)m 総事業費：2,900百万円	事業概要：測量設計、用地測量、用地補償、道路築造 事業費：645百万円	事業概要：用地補償、道路築造 事業費：1,495百万円

◎事業効果

○交差点改良や踏切撤去による渋滞の緩和や渋滞に起因する交通事故低減に寄与します。

位置図



現道の状況



標準横断面図



問い合わせ先：道路建設課道路・橋梁係 (075-414-5252)

主要地方道 浜丹後線（上野平バイパス）

（京丹後市丹後町久僧～平）

主要地方道 浜丹後線（宮バイパス）

（京丹後市丹後町宮）

主要地方道 網野岩滝線（外村バイパス）

（京丹後市弥栄町外村）

一般府道 間人大宮線（丹後弥栄道路・丹後工区）

（京丹後市丹後町三宅～弥栄町国久）

主要地方道浜丹後線等は、国道178号等と併せて丹後半島を周遊する道路を形成し、地域の生活を支える重要な路線ですが、一部区間で幅員が狭く、急カーブが連続するなど、安全な通行に支障をきたしているため、バイパスの整備により、通行の安全確保と地域振興の促進を図ります。

令和2年度は、用地補償、道路築造及び橋梁上下部工等を実施します。

◎事業概要

箇所名	全体計画	R元までの実績	R2計画
(主) 浜丹後線 （上野平バイパス）	事業期間：H26～ 延長・幅員：1.7km 6.0(10.0)m 総事業費：1,900百万円	事業概要：測量設計、用地補償、 道路築造 事業費：1,034百万円	事業概要：測量設計、用地補償、 橋梁下部、道路築造 事業費：196百万円
(主) 浜丹後線 （宮バイパス）	事業期間：H27～ 延長・幅員：1.1km 6.0(7.5)m 総事業費：500百万円	事業概要：測量設計、用地補償、 道路築造 事業費：400百万円	事業概要：道路築造 事業費：154百万円
(主) 網野岩滝線 （外村バイパス）	事業期間：H31～ 延長・幅員：1.6km 6.0(10.0)m 総事業費：2,000百万円	事業概要：測量設計 事業費：24百万円	事業概要：測量設計、用地補償、 事業費：73百万円
(一) 間人大宮線 （丹後弥栄道路 丹後工区）	事業期間：H26～ 延長・幅員：3.0km 6.5(10.5)m 総事業費：1,800百万円	事業概要：測量設計、用地補償、 道路築造、橋梁下部 事業費：1,270百万円	事業概要：測量設計、用地補償、 道路築造、橋梁上下部 事業費：644百万円

◎事業効果

- 急カーブ・急勾配が連続する交通ネック箇所を解消し、円滑な通行を確保します。
- 通過交通をバイパス道路に誘導し、現道部における歩行者の安全性向上を図ります。
- 丹後半島を一周する道路の整備により、観光振興を支援します。

位置図



現道の状況



都市計画道路 御陵山崎線 (寺戸工区) (向日市寺戸町)
 都市計画道路 御陵山崎線 (第3工区) (長岡京市神足)

都市計画道路御陵山崎線は、京都市西京区から大山崎町に至る乙訓地域を縦貫する幹線道路です。

本事業箇所は、第1次緊急輸送道路に指定されているとともに、近隣の小学校等の通学路となっていますが、自動車交通量が多く、道路及び歩道の幅員が狭隘で危険な状況となっています。

このため、本事業により道路拡幅に併せて無電柱化（電線共同溝）を実施することにより、自動車及び歩行者の安全性を確保するとともに、災害時における避難路・輸送路を確保します。

令和2年度、寺戸工区は物件調査及び用地補償、第3工区は用地補償及び文化財調査、道路築造を行います。

◎事業概要

箇所	全体計画	R元までの実績	R2計画
寺戸工区	事業期間：R元～	事業概要：測量調査 道路設計 事業費：50百万円	事業概要：物件調査 用地補償 事業費：40百万円
	事業延長：213m 総事業費：約1,400百万円		
第3工区	事業期間：H27～	事業概要：測量設計 用地補償 文化財調査 道路築造 事業費：1,600百万円	事業概要：用地補償 文化財調査 道路築造 事業費：950百万円
	事業延長：241m 総事業費：約2,700百万円		

◎事業効果

- 幅員を確保し、交通の円滑化を図ります。
- 安全な通学路を確保し、利用者の安全性向上を図ります。
- 災害時における避難路・輸送路を確保します。

現在の状況（寺戸工区）



位置図

現在の状況（第3工区）



標準横断面

位置図



寺戸工区 (W=15m)

15.00						
3.50	8.00				3.50	
自歩道	1.00	3.00	3.00	1.00	3.50	
	路肩	車線	車線	路肩	自歩道	

第3工区 (W=22m)

22.00								
3.00	0.50	3.25	3.25	2.00	3.25	3.25	0.50	3.00
自歩道	路肩	車道	車道	中央帯	車道	車道	路肩	自歩道

22

問い合わせ先:道路建設課街路係(075-414-5332)

一般国道163号 ^{ありいち}(有市) _{かさぎ ありいち} (笠置町有市)

一般国道163号は、大阪府大阪市から笠置町を經由して三重県津市に至る幹線道路であり、京都府南部地域の重要な東西軸を形成し、第1次緊急輸送道路としての役割も担っています。

事業区間は、一級河川木津川と併走する区間ですが、道路の高さが低いため、豪雨等の異常気象時に道路冠水による通行規制が発生するなど、車両の安心・安全な走行の支障となっています。

本事業により道路を嵩上げすることで、緊急輸送道路としての信頼性、安心・安全な通行の確保を図るものです。

令和2年度は、道路築造を実施します。

◎事業概要

全体計画	R元までの実績	R2計画
事業期間：H24～ 事業延長：0.8km 幅員：6.5(8.0)m 総事業費：900百万円	事業概要：調査・測量 事業費：92百万円	事業概要：道路築造 事業費：205百万円

◎事業効果

- 歩行者、通行車両等の安全性が向上します。
- 第1次緊急輸送道路としての信頼性が向上します。

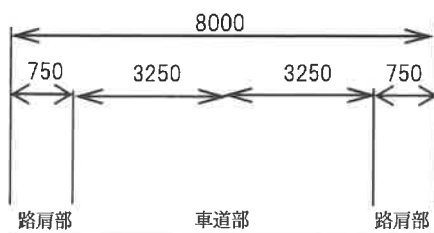
位置図



冠水時の状況



標準横断図



平常時



問い合わせ先：道路建設課道路・橋梁係 (075-414-5252)

ごうのくちあまるべ うつね
一般府道郷ノ口余部線（宇津根橋）
かわらばやし うつね
 （亀岡市河原林町～宇津根町地内）

一般府道郷ノ口余部線は、亀岡市旭町の国道477号との交差点を起点とし亀岡市余部町で国道9号に接続する約8kmの路線で、地域の生活道路であるとともに高校生の通学にも利用されていますが、桂川の渡河部にある宇津根橋は架設後60年以上経過しており老朽化が著しく、また幅員狭小で歩道が無いため、歩行者や通行車両の安全性に支障を来している状況となっています。

本事業は、宇津根橋を含めた未改良区間の700mを整備することにより、老朽化橋梁の解消による災害時の信頼性の向上及び通行の安全性の確保を図るものです。

令和2年度は、橋梁下部工・橋梁上部工・道路築造工を推進します。

◎事業概要

全体計画	R元までの実績	R2計画
事業期間：H26～R4* 事業延長：0.7km 幅員：6.5(11.0)m 事業費：4,100百万円	事業概要：測量、設計 用地補償 橋梁下部工 事業費：1,497百万円	事業概要：橋梁下部工 橋梁上部工 道路築造工 事業費：430百万円

※開通時期を示しています（事業完了予定年度とは異なります）

◎事業効果

- 老朽化橋梁の架替えにより、災害時における道路の信頼性向上を図ります。
- 2車線道路の整備により大型車の離合が容易となり、通行の利便性が向上します。
- 歩道の設置により、高校生などの通学時の安全性が確保されます。

位置図



現道の状況



施工の状況



問い合わせ先：道路建設課道路・橋梁係（075-414-5252）

鴨川公園

千年の都・鴨川清流事業（都市公園事業）

（京都市左京区 地内）

鴨川は京都市の中心部を流れる最大のオープンスペースであり、人々にやすらぎや開放感をもたらす潤いある都市環境の創出に供する親水空間である。また、多様な文化を育んできた歴史を持ち、府民にとっては欠かせない存在である。

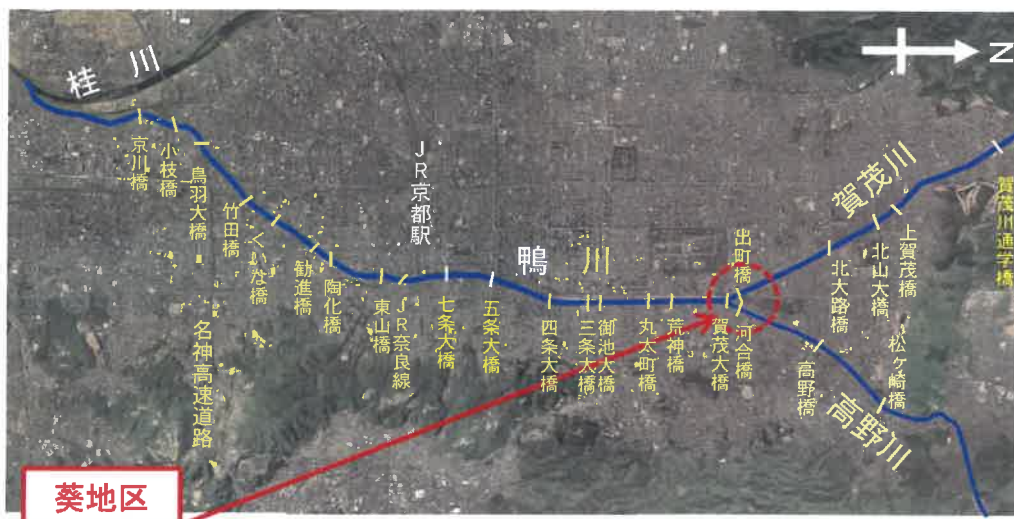
鴨川と高野川の合流部に位置し、^{なす}紘の森や下鴨神社にも近い鴨川公園葵地区では、森の景観を守り、自然豊かな眺望を取り込んだ公園の整備を令和元年度より進めている。

令和2年度は、トイレを含む複合施設の建築工事及び広場整備を実施する。

◎事業概要

全体計画（葵地区）	R元までの実績	R2計画
事業期間：H30～R4 総事業費：約200百万円	事業概要：樹木整備 複合施設実施設計 事業費：42百万円	事業概要：複合施設建築工事 広場整備 事業費：42百万円

◎事業効果 府民に開かれたにぎわいあふれる活動拠点を創出するため、周囲資源や景観のつながりを高めつつ、立地条件を活かした新しい魅力を持つ公園に再生する。



整備イメージ
(南側エントランス)



複合施設イメージ



整備イメージ
(クロマツに囲まれた広場)

問い合わせ先：都市計画課 公園係(075-414-5272)



近畿圏における唯一の日本海側拠点港として、国際コンテナ、外航クルーズ機能の強化を図り、府北部地域の産業振興や地域活性化に資するため、臨港道路及び舞鶴国際ふ頭、第2ふ頭の整備を国とともに取り組みます。

1 事業概要

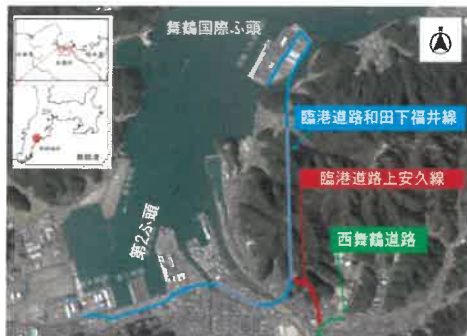
- (1) 臨港道路 【直轄事業】 臨港道路上安久線
 【府事業】 臨港道路和田下福井線（高野川橋梁工区）
- (2) 舞鶴国際ふ頭 【府事業】 II期整備に向けた調査・設計、工事ヤード整備等

地区（施設）	事業期間	全体事業費	（千円）		
			H30まで	R元	R2
臨港道路 和田下福井線	H21～	1,411,000	901,000	190	10,000
舞鶴国際ふ頭 II期整備に向けた調査等	—	250,000	—	—	250,000
計		1,661,000	901,000	190	260,000

参考：直轄事業(令和2年度)：和田地区（臨港道路上安久線）ほか 1,086,000千円
 第2ふ頭地区 100,000千円

2 位置図及び写真

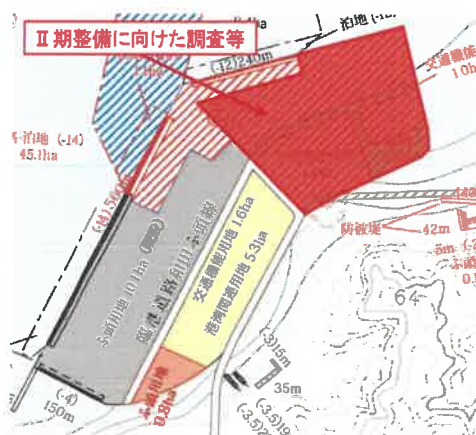
○ 位置図



○ 臨港道路 和田下福井線



○ 舞鶴国際ふ頭



桂川右岸流域下水道雨水対策事業 (いろは呑龍トンネル)

(京都市西京区、南区、向日市及び長岡京市)

桂川右岸流域下水道雨水対策事業は、集中豪雨による浸水被害の軽減を図るため、平成7年度から雨水貯留管「いろは呑龍トンネル」の整備を進めており、平成23年度に北幹線管渠の供用を開始しました。南幹線管渠は平成25年度から工事に着手、平成30年度に南幹線シールドトンネル工事が完成し、令和2年度の暫定供用、令和5年度の完成を目指しています。

令和2年度は、呑龍ポンプ場（桂川へ毎秒10ト放流）及び関連する公共下水道接続施設の建設工事を進め、暫定供用を図ります。

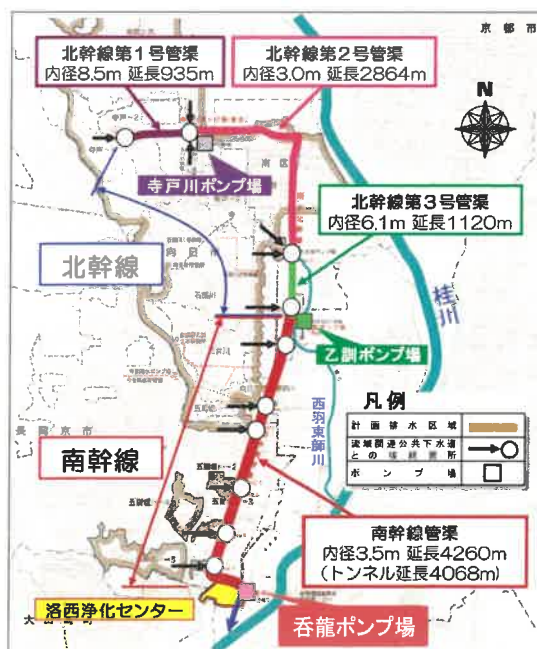
◎事業概要

全体計画	R元までの実績	R2計画
事業期間：H7～R5 事業延長：約9.0km （北幹線）：約4.9km （南幹線）：約4.1km 対策量：約24万m ³ 管渠内径：3.0～8.5m 総事業費：約45,000百万円	○北幹線 ・北幹線第1号管渠 (H13供用) ・北幹線第2・3号管渠 (H23供用) ○南幹線 (内径3.5m L=4.1km) ・シールドトンネル (H31.3完成) ・呑龍ポンプ場 (H29～)	○呑龍ポンプ場 ・土木工事 (H29～R2) ・ポンプ設備工事 (H30～R2) ○公共下水道接続 (6箇所の内2箇所) ・和井川 (H30～R2) ・五間堀川5 (H30～R2) 事業費：約3,600百万円

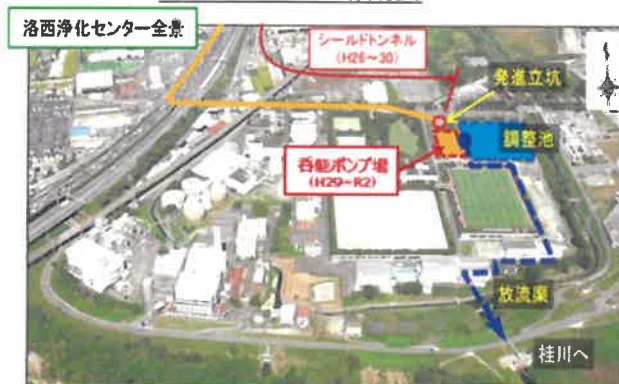
◎事業効果

- 平成25年及び平成26年の大雨では北幹線管渠内に100%、平成30年7月豪雨では53%貯留し、北幹線供用後延べ約2,450戸の浸水被害を軽減しました。
- 南幹線の整備により、貯留効果に加え、呑龍ポンプ場の整備で桂川へ直接放流する流下機能が追加され、集中豪雨による浸水被害のさらなる軽減を図ります。

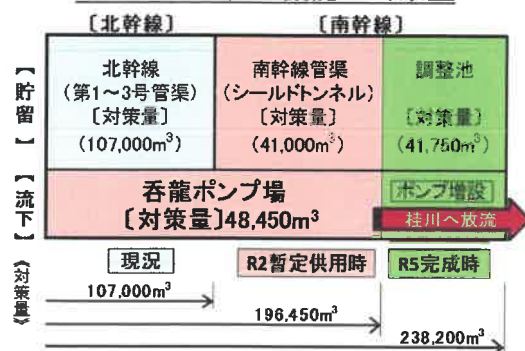
◎桂川右岸流域下水道雨水計画概要図



◎呑龍ポンプ場概要



◎貯留及び流下機能の対策量



木津川流域下水道事業 (洛南浄化センター水処理施設増設工事) (八幡市)

木津川流域下水道事業は、生活環境の改善や公共用水域の水質保全を図るため、昭和50年度に事業に着手、昭和61年3月に供用開始し、洛南浄化センターで京都市以南6市2町の汚水処理を行っております。

増加する流入下水量に対応するため、平成29年度から洛南浄化センター水処理施設の増設工事に着手し、処理能力の拡大を図っています。

令和2年度は、E系列水処理施設の土木、機械・電気工事を進めます。

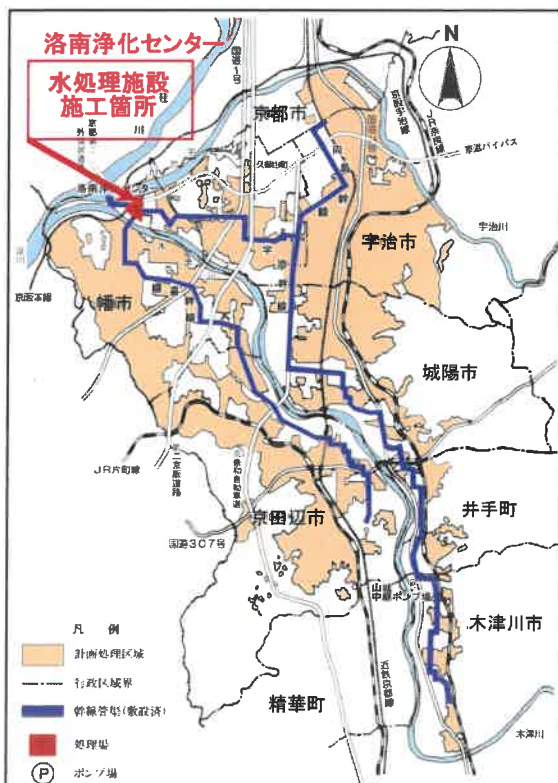
◎事業概要

全 体 計 画	R元までの実績	R2計画
事業期間：S50～ 処理区域面積：6,740ha 処理能力：222,300m ³ /日 処理方式：高度処理方式 系列数：6系列	○水処理施設 ・施設増設 分配槽(土木工事) 水処理施設[E系列 1/2] (22,500m ³ /日)(土木工事) (供用施設(A～D系列) 処理能力：152,700m ³ /日)	○水処理施設 ・施設増設 分配槽(機械・電気工事) 水処理施設[E系列 1/2] (土木、機械・電気工事) 導水渠、独立管廊、電気棟
総事業費：約165,400百万円	事業費：約127,100百万円	事業費：約3,193百万円

◎事業効果

- 安定した水処理により、公共用水域の水質保全を図ります。
- 処理能力拡大により、新名神高速道路のIC供用や関西文化学術研究都市に伴う新たな企業立地や住宅開発に寄与します。

◎木津川流域下水道計画概要図



◎洛南浄化センター（航空写真）



◎水処理施設 E 系列（イメージ図）

